魅力あふれる和歌山のブラクリ丁

和歌山PR新聞

発行者
和歌山大学教育学部附属小
5年A組
発行年月日
2021年1月10日

ぶらくり丁の現状

今のぶらくり丁の現状はシャッターが多く、人通りが少ないです。シャッターには多数の張紙がされています。また、平日の昼間でも、開店しているお店は少なく、約二百店舗ある中でも約二割の店が閉店しています。その店舗を住居にしているお店もいるのですが、しかし、その店舗の持ち主が、次に店をするための売上地、資金地にすることができません。そのため、シャッターが次々と増えていってしまいます。この問題は、ぶらくり丁に店舗を構える方々の全体のなやみでもあります。

ぶらくり丁にはアーケードが設置されていて、ぶらくり丁の良いところの一つに数えられます。そして雨風や直射日光を防ぐことができるので、雨天時や夏場にぶらくり丁を訪れるには適しています。しかし、アーケードが設置されていて、日光が、よく遮られているため、ぶらくり丁がさらに暗くみえてしまいます。より活気がなくみえてしまうため、近寄りにくくなっています。ぶらくり丁を歩いている人は、常に数人で、大半の人達は自転車で通りすぎてしまい、店舗には目もくれません。

一方店舗の中に入ってみると、みなさんあたたかくむかえてくれます。とつ然のインタビューにも快くしょうだくしてくれました。質問をすると、どんな内容にも、一つ一つ分かりやすく、説明しながら答えてくれました。ぶらくり丁には、普なのお店だけではなく新しいお店もあります。そのお店の店主さんは、活性化に協力してくれました。

これが、ぶらくり丁の現状です。

ぶらくり丁の現状を伝える写真

平日の昼のぶらくり丁

5Aが今までやってきた事、まず、ぶらくり丁に行って、インタビューをしたり、ぶらくり丁の課題などを見つけた。

学校では課題やインタビューの回答などのことを意見交換などをした。そしてまた、ぶらくり丁にいって次は、ぶらくり丁の状態などの見たり、雨の日や雨の日の気を調べに行った。そして、ぶらくり丁の活性化をしている和歌山大学の先生に外国の商店街などの先生に外国の商店街などどのアイデアをぶらくりさんの活性化に活用できるかなどのことを調べた。そして、外国の商店街などのアイデアを聞いた。

これが今までやってきたことである。

良い所

ぶらくり丁はアーケードがあるから、夏はひやけに気にすることなく、楽にお買い物ができます。

お花屋さんのエ夫は、とびらがずっと開いているから入りやすい。

初めてぶらくり丁に来た人でも、お店の人とかんたんにコミュニケーションがとれて、すぐに仲良くなれます。

人の声また前みたいに人気がもどってきて、活気が出てほしい、ケーケードがなってほしい、きれいにアーケードがぬれずに買い物ができる、ぶらくり専用の駐車場がほしい。

ブラクリ丁の人達のやさしさ

ブラクリ丁の方々は

やさしくて
いつも笑顔!

私たちはブラクリ丁の人がやさしいと思います。なぜならブラクリ丁を歩いていると「がんばって!」と声をかけてくれたり、インタビューをしたときに「ありがとう」といってくれたからです。また、いつも笑顔でむかえてくれるからです。そしてしょうがいのある人でもやさしく質問を聞いてくれます!

自分達の目ざす町

私たちが目ざす町は、活気があり、すごしやすくみどりが多くてベンチもありおとしよりの方にも便利な町です。

さらに、今のブラクリ丁のいいふいんきものこしつつ、いいブラクリ丁にしたいと思います。

私たちは、ブラクリ丁活性化するために和歌山大学の先生と協力しています。その中本住するが、一般に本町、ぶらくり丁、中ぶらくり丁、東ぶらくり丁、ぶらくり丁大でイベントについて調べました。最近コロナで中止になってイベントがなくなってしまいました。イベントをやることによって、用いられ京ぶらくり、ぶらくり丁本町、お客さんも楽しみに来てくれると思います。

単位の商店街としてぶらくり丁商店街も二丁目ともいわれる。この6商店街で総店舗・数分称ぶらくり丁、中ぶらくり丁、東ぶらくり丁、ぶらくり丁大の6商店街の総称と通り、北ぶらくり丁、ぶらくり丁本町、和歌山市中央商店街連合会を形成している。